

施策項目	意見		市の考え方	計画への反映
	出典	概要		
	審議会での意見	SDG s について、用語解説や周知が必要ではないか	長期総合計画において、本計画とSDG s の関わりの項目を作成する。	基本計画中に「橋本市×SDG s」という項目を作成し、SDG s の概要、SDG s に関する取組みを記載
	審議会での意見	商工会議所・商工会の記載について、同じ言葉が出てくるなら、（以下「商工団体」と言う）としてどうか	ご指摘のあったとおりに表現を修正する。	最初の記載の箇所で、商工会議所・商工会（以下「商工団体」という。）と記載。
	審議会での意見	協働の取組みに関する書きぶりを統一してはどうか。	基本的に、誰の役割が分かるように、文章の初めに主語を明記し、書き方の表現を合わせる。	各施策項目において、市民や事業者等、誰の役割が分かるよう主語を表記。
02 農林業	審議会での意見	施策内容①に記述にある「農福連携」についてももう少し具体的な説明が欲しい。	「農福連携」について、文章を補足します。	施策の内容 ①魅力ある農業の振興 ●農事組合法人での障がい者雇用などの農福連携、連携市との農業連携による都市農村交流、子どもの農体験など、農業を活かした取組みの展開を促進します。
02 農林業	審議会での意見	施策内容②に記述のある耕作放棄地の解消に対する具体的な説明が欲しい。また、法人化支援等は考えていないか。	農業振興条例に基づき、農産物加工や、農地を借り受けによる農地集約や、農業法人化による経営強化などの補助制度を設けています。	-
06 シティプロモーション	審議会での意見	「インナープロモーション」、「アウタープロモーション」の言葉は難しいので省略してもよいのでは。また省略しない場合は注釈が必要ではないか。	シティプロモーションの実施にあたり、「市民や関係団体への郷土愛の醸成」と「市外に向けた魅力・情報発信」をそれぞれのターゲットの違いとして端的に表現する語句として省略せず使用したい。	注釈を挿入。 ・インナープロモーション 市民が橋本市の魅力に愛着や誇りを持ち、自ら発信者となってもらうための取組み ・アウタープロモーション 橋本市を知らない、訪れたことがない人を来訪させ、橋本市ファンを増やすための取組み
07 情報コミュニケーション	審議会での意見	市民サービスの一環として、フリーWi-Fiの整備についての記述はできないか。	フリーWi-Fi、個別の取組みを記載するのではなく、今後のDXの取組みを進めるうえで、検討する。	基本計画中の「行政推進の基本姿勢」の箇所で、橋本市のDXに関する内容を記載。

施策項目	意見		市の考え方	計画への反映
	出典	概要		
08 危機管理・災害	審議会での意見	避難行動要支援者の個別計画を策定開始しているのであれば、施策の内容①についてもう少し良い表現はないか。（策定を開始しますであれば、まだ着手されていないように捉えられる）	避難行動要支援者の個別避難計画は、個々に方針を決め、個々の計画が必要で、対象者の環境変化や、新規の要支援者も都度見込まれ、逐次名簿及び計画の手入れが必要。	施策の内容 ①災害予防対策の充実 避難行動要支援者の個別避難計画作成方針を決定し、個別避難計画を策定します。
13 土地利用・市街地・景観	審議会での意見	施策の内容②に「良好な景観の形成を・・・」とあるが、良好な景観とは何か、もう少し具体的に書いた方がいいのでは。	①マスタープランの記載について、後期計画が公表される時点ではマスタープランが作成済み予定なので文言削除	施策の内容 ②良好な市街地景観、田園景観、緑の景観の保全 ※良好な景観の形成とは、市民の地域に対する愛着や誇りを高める景観づくりのことを言います。
16 自然環境	審議会での意見	課題の箇所に「里山の機能を・・・」とあるが、このことに関する施策の内容の記載がない。何か記述できる内容はないか。	里山の機能回復や人工林の整備については、現在、所有者・管理者である地域住民に対して、支援をしながら良好な保全に努めておりますので、その旨施策の内容へ記述させていただきます。	施策の内容 ②動植物の生息・生育環境を保全する ●里山の機能回復や人工林の整備について、所有者・管理者である地域住民に対して、支援をしながら良好な保全に努めます。
17 循環型社会	審議会での意見	前期計画の施策の展開に記載している、事業系ごみ指定袋導入や事業系ごみ受け入れ対応が実施されているのならば、後期基本計画の「前期計画の取組み」に記載しても良いのでは。	事業系ごみ指定袋の導入等については、検討しましたが導入するに至らなかったため記載しておりません。	-
22 社会保障	審議会での意見	施策の内容⑤に記載の「生活困窮者について自ら声に出して発信できない人の支援」の方法についてもう少し分かりやすくできないか。（民生委員児童委員や関係機関と連携しなど）	いただいたご意見のとおり、具体で分かりやすい表現に改めます。	施策の内容 ⑤生活困窮者の自立の促進 民生委員児童委員や関係機関と連携し、生活困窮者について自ら声に出して発信できない人の支援を図ります。

施策項目	意見		市の考え方	計画への反映
	出典	概要		
23 地域福祉	審議会での意見	施策の内容③に「コーディネーター役の確保」とあるが、具体的な方法を教えてほしい。	「コーディネーター役の確保」という表現を変更し、施策項目37（地域コミュニティ）の箇所に掲載。	施策項目37 地域コミュニティ 施策の内容 ①市民活動の支援 ボランティア等の市民活動を希望する人とボランティアの手助けを必要とする人のマッチングに努めます。
26 人権・平和	審議会での意見	課題に人権出前講座の周知について記載されているが、施策の内容には記載がない。出前講座の周知に関する文章はできないか。	人権施策を推進するためには、人権出前講座を広く周知して利用していただく必要がありますので、文章を追加します。	施策の内容 ②人権施策を推進するための仕組みの充実 ●企業や各団体に対して出前講座の周知を行い、利用促進を図ります。
27 男女共同参画	審議会での意見	課題の箇所に「市職員の育児休業向上・・・」とあるが、「市職員」という文言をとってもよいでは。また、施策の内容③にエンパワメントと記載しているが、直前で同じ意味の表現があるのでとってもよいのでは。	・ご指摘のとおり、「市職員」だけではなく、市民全般に育児休業取得向上が必要です。 ・エンパワメントの意味は非常に広く、すべての男女が力を引き出し育む事であるので、同じ意味ではないと考えます。	課題 ・男性の育児休業取得向上を促すとともに、市民向けにワーク・ライフ・バランスの研修会、講演会を開催し、啓発に努める必要があります。
31 学校教育	審議会での意見	施策の内容②に教職員の資質向上とあるが、資質向上と併せてクラブ活動の外部人材導入などの教職員への負担軽減（量的軽減）の文章を入れることができないか。	教員の負担軽減については、これまでも取組を進めているところであり、部活動への外部人材の配置も行っていることから、引き続き取り組むことを掲載することは可能と考えます。	施策の内容 ②多様な学びの推進 ●新しい教育課題に対応するため、教職員の資質向上や負担軽減を図ります。
33 生涯スポーツ	審議会での意見	施策の内容①にスポーツ推進アドバイザー事業の文が追加されているが、子ども向け体験会が突然でてきている。課題に対する取組みという意図で追加されたのか。	課題に対する取組みでの一つではありますが、子どもの体力や運動能力の向上、運動の楽しさを知ってもらうことが目的です。	-
34 歴史遺産	審議会での意見	施策の内容①で前期計画では「黒河道周辺」の景観維持のための特定景観形成地域への指定に関する文があったが、今回を削除されている。削除した理由とこの取組みに対する進捗状況を教えて欲しい。	令和2年12月15日に和歌山県景観計画に基づく特定景観形成地域に指定された前期計画の取組みに追加します。	前期計画の取組み ●2020年（令和2年）12月には、黒河道周辺が特に良好な景観を形成することが重要である地域として、高野参詣道（黒河道）特定景観形成地域に指定されました。

施策項目	意見		市の考え方	計画への反映
	出典	概要		
36 青少年 健全育成	審議会での意見	施策の内容で、ネットトラブルなどの課題に対する記述が少し少ないように感じるがどうか。できれば何か追加できないか。	小中学生及び保護者に対して、スマホ利用に関するリーフレットを配布して啓発します。	施策の内容 ①青少年の健全育成活動の充実・交流の促進 子どもの健やかな成長に向けて、スマホ利用に関するリーフレットを配布し啓発するとともに「橋本市スマホ宣言」を推進します。
36 青少年 健全育成	審議会での意見	施策の内容③で「ヤギの箱」の設置場所を検討するとの記載があるが、前期計画では有害図書の回収を進めるとしていた。設置場所の検討とは、今後減らしていくという考えなのか。	有害図書がほとんど入っていない場所があるので「ヤギの箱」設置場所の変更等を検討していきます。	-
01 商工業 02 農林業	高校生ワークショップでの意見	ネット販売を利用し、特産品を売る	地元特産品をネット販売で取り組む事業者もあるが、商品も多く埋もれてしまうため、今後はどういったPRが必要か精査が必要だと考えています。 一方で、コロナ禍で発生した、おとりよせの需要は、農家にとっても新たな販路となっています。市では、農産物等のインターネット販売手数料の補助を行い推進しています。	
01 商工業 02 農林業	高校生ワークショップでの意見	地元特産品を使った飲食店を増やし、SNS等で発信	市内や高野山などでの飲食店に営業活動を行い、地元特産品を使用いただける協力店を増やしたり、はしもとオムレツ推進協議会とした取組みを進めています。 また、農産物PRアンバサダーを委嘱しSNS等でのPRや、HPやFacebook等の情報発信は引き続き行っています。	

施策項目	意見		市の考え方	計画への反映
	出典	概要		
02 農林業	高校生ワークショップでの意見	農産物の活用	農産物は、本市のふるさと納税返礼品でも主力ですので、補助制度等を充実させ、農業の振興、就農支援を行っています。 (本計画に「魅力ある農業の振興」について記載しています。)	
03 観光	高校生ワークショップでの意見	・アウトドアに力をいれ、橋本市の自然を生かす ・サイクリングロード周辺の整備（休憩スペース、ベンチ等） ・食フェス（農産物の活用、フォト選手権）など、イベントを増やし橋本市に来てもらう	本年度シティプロモーション計画を策定予定であり、手法を検討していきます。	
03 観光	高校生ワークショップでの意見	サマーボール復活してほしい	現在検討中です。	
04 雇用・就労・労働環境	高校生ワークショップでの意見	・定時に退社できるように働けるための市による企業への支援 ・プライベートを楽しめる・充実させられる働き方が必要	サービス残業がないようハローワーク、労働基準監督署などとの情報共有や、多様な働き方を支援する制度等の周知や啓発を行っています。(本計画に、「就労環境の改善」について記載しています。)	
04 雇用・就労・労働環境	高校生ワークショップでの意見	・フレックスタイム制が導入された会社で働きたい ・きれいな会社で働きたい	各事業所ごとに取組む内容であり、フレックスタイム制については業務内容によってメリットデメリットが存在すると考えます。	
04 雇用・就労・労働環境	高校生ワークショップでの意見	自分の得意なことを生かせる	就職相談におけるマッチングが重要と考え、ハローワーク等と連携し、年齢や適正・能力に応じた就業機会が提供されるよう努めています。(本計画に「就労に関連する各種機関との強化」について記載しています。)	
04 雇用・就労・労働環境	高校生ワークショップでの意見	起業支援	現在も創業支援の一部補助や、県や商工団体と連携し、創業支援に取り組んでいます。 (本計画に創業・起業環境の整備促進について記載しています。)	

施策項目	意見		市の考え方	計画への反映
	出典	概要		
04 雇用・就労・労働環境	高校生ワークショップでの意見	田舎×会社→リラックスできる場所で仕事ができる、自由に働ける	コロナ禍もあり一部テレワークも進んでいます。	
04 雇用・就労・労働環境	高校生ワークショップでの意見	会社内にジムやコンビニ等の施設が整っている会社を増やしてほしい	企業内へのジムやコンビニ等の施設整備は、福利厚生の一環と考えられるため、施設整備については企業で検討いただく内容と考えます。	
05 企業誘致	高校生ワークショップでの意見	有名企業と地元企業のコラボ、大手企業の本社を誘致	企業誘致施策開始当初から、大勢の地元雇用が見込まれる大手企業等の誘致に取り組んでいるが、大手企業は交通アクセスの良い場所（国土軸周辺用地）へ立地する傾向が多く、現在、本市への大手企業の進出はNTN(株)1社となっている。しかし、現在は、京奈和自動車道の延伸等により、大阪市内、名古屋方面への交通アクセスが格段に向上したため、今後も引き続き、大手企業をはじめ多くの企業にアプローチし、1社でも多くの企業を誘致していきたい。 また、地域経済の活性化に向け、誘致企業と地元企業等とのマッチングに努めます。 （本計画に「企業誘致活動の促進」について記載しています。）	
06 シティプロモーション	高校生ワークショップでの意見	・子育てのしやすさや特産物をもっとアピール ・「橋本市は〇〇なまち」と誇れるように、市民の愛着を醸成し、周りに伝える	本年度シティプロモーション計画を策定予定であり、手法を検討していきます。	
07 情報コミュニケーション	高校生ワークショップでの意見	はしぼうの活用（キャラ付け、表現豊かに、はしぼうアニメ）	引き続き、イベント等でのはしぼうの出演や、はしぼうを活用し取組みを進めていきます。	
07 情報コミュニケーション	高校生ワークショップでの意見	有名人やインフルエンサーの活用（テレビやSNS）	インフルエンサーも様々な方がいるため、調査研究が必要となる。現在は、サイクリングにおいてインフルエンサーを活用しています。	

施策項目	意見		市の考え方	計画への反映
	出典	概要		
07 情報コミュニケーション	高校生ワークショップでの意見	・市長のYouTube活用（市長が〇〇してみた） ・ホームページの改善（華やかにする）、SNS（インスタ・YouTube等の周知）	引き続き見やすく最新の情報を発信できるよう取り組み、YouTube活用は、市のPR活動の参考にさせていただきます。	
07 情報コミュニケーション	高校生ワークショップでの意見	橋本市のPR動画を作る	現行PR動画を様々なイベント等で利用しており、職員については引き続き映像研究部の中で動画作成等のスキルアップを目指します。	
07 情報コミュニケーション	高校生ワークショップでの意見	インスタに載せる内容を若者向けに	Instagramの運用については、主に共通ハッシュタグkakeru_hashiをフォロワーにつけていただき、シェアしているため引き続き現行の運用を進めます。	
07 情報コミュニケーション	高校生ワークショップでの意見	学生からSNSの使い方、改善点や流行を聞いて実際に取り入れる	機会があれば、検討したいと考えています。	
12 地域公共交通	高校生ワークショップでの意見	電車の本数を増やしてほしい	自治体での実施は難しく、鉄道会社での方針や経営方法により検討いただく内容と考えます。	
20 公園・緑地	高校生ワークショップでの意見	・安全な遊び場を増やしてほしい ・きれいでインパクトのある公園（小さい子供でも遊べるような） ・子どもが走り回れる大きな公園（コンビ二、トイレが複数ある、大きな遊具など）	奇麗で安全な公園を提供できるよう、専門技術者による点検などを行い、適正な維持管理に努めます。 また、公園利用状況も踏まえ、集約化の検討が必要と考えています。 （本計画に「公園緑地の整備の充実」について記載しています。）	
20 公園・緑地	高校生ワークショップでの意見	農業体験、自然体験（公園整備、キャンプ場）ができる場所	体験型（観光、学習）については関係部署との連携が必要と考えています。まずは現存する公園の適正な維持管理を行っていきたいと考えています。	

施策項目	意見		市の考え方	計画への反映
	出典	概要		
24 高齢者福祉	高校生ワークショップでの意見	定年後も働ける、働きやすい場をつくる	定年後に働くことができる場としてシルバー人材センターが代表的なものです。同センターを広報・啓発することを通じて高齢者の就労を支援し就業により生活の張り合いや生きがいを感じることができるよう努めます。また、地域活動などを通じて社会参加することで健康維持・介護予防につながる働きかけを進めます。 (本計画に「介護予防等高齢者の健康維持の促進」について記載しています。)	
27 男女共同参画	高校生ワークショップでの意見	・公務員（先生含む）がホワイトで働けるように ・子どもがいる家庭も働きやすいよう、育休・産休がとりやすい環境→女性でも仕事に復帰できる	他の業種の見本となる働き方ができるよう取り組み、また育児・介護休業などワーク・ライフ・バランスについての認識を深めるための啓発を進めています。 (本計画にワーク・ライフ・バランスについての取り組みを記載しています。)	
29 子ども・家庭	高校生ワークショップでの意見	医療費の無償化	児童の健康保持、増進に寄与するとともに子育て世帯の経済的な負担軽減を図る医療費助成制度を高校生年齢まで拡充することは重要であり、進めていきます。 (医療費の助成制度を高校生まで拡げることについて計画に記載しています)	
31 学校教育	高校生ワークショップでの意見	プログラミングの体験・教育、また最先端のものが学べる	プログラミングに関しては、学習指導要領の規定や和歌山県が策定したプログラムにより実施しています。 (本計画に「多様な学びの推進」について記載しています。)	
31 学校教育	高校生ワークショップでの意見	様々な職業体験（人気だった職に関する企業を市に呼び込むなど）	職場体験学習については、以前からキャリア教育の一環として全中学校で実施しています。体験先は生徒の希望等も勘案し、地域の事業所の協力を得て決定していますが、事業所の内容によっては受け入れがかなわないこともあります。	

施策項目	意見		市の考え方	計画への反映
	出典	概要		
31 学校教育	高校生ワークショップでの意見	SDGs について学べる施設、英語・仕事体験ができる（キッザニアなど）施設が増えて欲しい	楽しみながら社会のしくみを学ぶことができる施設（こども向け職業体験型テーマパーク）は、魅力的であります。設置にあたる実施主体が自治体でないことなど様々な検討事項があるものと考えます。 まずは、現行の職場体験学習を通してキャリア教育を進めていきます。	
31 学校教育	高校生ワークショップでの意見	地域の文化が学べる（だんじりなど）	地域の歴史や文化について学習する機会は、計画にも記載しており、引き続き市内の学校で行っていきます。	
31 学校教育	高校生ワークショップでの意見	どのような政策に取り組んでいるか学校や講義で知ってもらう	総合的な学習の時間や市で行っている出前講座の利用により、市の施策について学ぶことができるようになっていきます。	
31 学校教育	高校生ワークショップでの意見	個性が尊重される（人権教育）	人権教育の充実については、家庭や地域社会との連携を進め、人権教育、道徳教育等を通じて豊かな心を育てる取組を進めます。 （本計画に「豊かな心と健やかな体を育てる」について記載しています。）	
31 学校教育	高校生ワークショップでの意見	海外交流、異文化交流（小学生のころから）	海外との交流を行うことは意義深いことであると考えますが、交流することが目的化してしまつては本来のねらいがあいまいになってしまつて考えます。総合的な学習の時間等において国際的な課題を扱う場合には海外との交流も考えられますが、現状ではそのような計画とはなっていません。	
33 生涯スポーツ	高校生ワークショップでの意見	スポーツ教室の増加	現在でも走り方教室を行なっているが、新規で教室を開くのはどの種目にするかや、回数、場所など十分な検討が必要だと考えます。	

施策項目	意見		市の考え方	計画への反映
	出典	概要		
35 文化芸術・国際交流	高校生ワークショップでの意見	海外交流、異文化交流（小学生のころから）	国際親善協会による世界の料理教室、スピーチコンテスト、学生親善大使派遣、橋本市ユネスコ協会による国際交流事業などを支援しています。 （本計画に「国際交流の推進」について記載しています）	